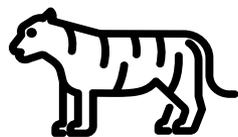


ContentsPRO

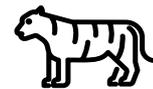
活用のポイント



虎

の

巻



※本資料で使用しております画面の企業名・氏名・住所・電話番号等は、すべて架空のデータです。

※画面はイメージであり、実際の画面とは若干異なる場合があります。

NetLearning®

2024/9/26
Ver4.0

ContentsPROは自由に学習コンテンツを作成できるのが最大のメリットです。

本書では

- ・ContentsPROの活用方法
- ・コンテンツ作成のポイント

をご紹介します。



目次

01. レッスン・テスト・セルフチェック各要素について

- 各要素について
- 利用できる素材について
- レッスンとは
- テスト・セルフチェックとは
- テストについて
- 動画について

02. 具体的な作成のポイント

- 1 レッスン 1 メッセージ
- 視覚効果を利用しましょう
- 資料のeラーニング化
- テンプレートを活用しましょう
- 学習全体の構成
- 学習頻度の工夫
- テストオプションを設定しましょう
- 視聴必須の動画ページを作りましょう

03. 【参考】学習コンテンツイメージ

- 目次
- イントロダクション
- プレチェック
- レッスン
- テスト
- 動画
- コピー機能について

ヘルプとサポートのご案内

01.

レッスン・テスト・セルフチェック
各要素について 

ContentsPROではレッスン・テスト・セルフチェックの4つの要素を組み合わせ、自由度の高いeラーニングコースをかんたんな操作で作成できます。



レッスン

学習内容を記載



テスト

学習したことを理解できているか確認



セルフチェック

正否を求めない内容について質問



動画

動画の視聴完了を記録

組み合わせは自由自在！学習要素の数に制限なし！ ※

各要素の必要性を検討のうえ、全体の構成を考えましょう。

※修了を必要とするコースを作成する場合、テストまたはセルフチェックの設定が必要です。

利用できる素材について

ContentsPROでは様々なファイルを活用してコースを作成することができます。
対応形式は以下の通りです。

▼ 対応形式



画像

jpg jpeg
png gif
tif tiff
bmp



動画

mp4



音声

mp3



ダウンロードリンク

zip rar txt pdf
docx doc
xlsx xls
wps pptx ppt



※1ファイル100MBまで
※動画は1ファイル1GBまで

レッスンとは

① テキストページを作成

レッスンは教材となる部分です。**学習のポイントをシンプルに伝えましょう。**

ContentsPROはテキストの装飾やコンテンツの挿入がかんたんに実現できるため、**重要ワードを目立たせたり、イラストや図表を活用することで学習効果を高められます。**

お手持ちの教材資料を加工して画像で貼り付けることも可能です。

The screenshot displays a lesson page titled "Lesson1" with a navigation bar at the top containing "前ページ", "目次", and "次ページ". The main content area includes:

- Text: "このレッスンでは・・・について学習します"
- Section: "◆～とは" with a numbered list:
 - ①.....
 - ②.....。
- Section: "◆～についての調査" with dotted lines below it.
- Visuals: A bar chart icon and a callout bubble with an image icon and the text "画像".
- Footer: A yellow box containing "事例1" in an orange circle, "職場で.....", and an icon of two people with a question mark.

Callout bubbles on the left and right provide additional information:

- Left bubble: "B A" (representing bold and italic) and "テキストの色 太字 フォントサイズ" (Text color, Bold, Font size).
- Right bubble: "画像" (Image).

レッスンとは

② 動画ページを作成

動画学習は、テキストばかりのコンテンツより**抵抗感が少なく、細かい説明やニュアンスも伝えやすい**というメリットがあります。

動画はかんたんにUPできるので、長尺の動画※はもちろん、短い動画をいくつも学習するようなマイクロラーニングとして活用することもオススメです。

※最大1GB

The screenshot shows a lesson page titled "Lesson2 講義動画". The page has a navigation bar with "前ページ" (Previous Page), "目次" (Table of Contents), and "次ページ" (Next Page). The main content area contains the text: "このレッスンでは～について学習します。▶ ボタンを押して視聴を開始してください。" Below this text is a video player area with a play button icon. Two callout bubbles provide additional information:

- Left Callout:** 動画 (Video) ・mp4
- Right Callout:** 外部コンテンツ (External Content)
 - ・動画配信サービス (Video Distribution Service)
 - ・VR・360度動画 (VR・360-degree Video)
 - ・PIP-Maker (外部サービス) (PIP-Maker (External Service))

レッスンとは

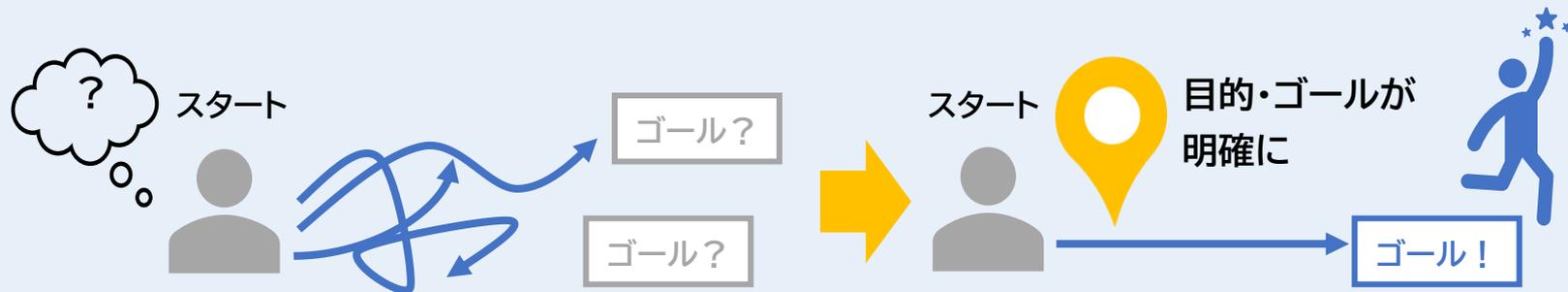
プラス
α

イントロダクションをつくってみましょう！

学習の前に、研修の目的やゴール(学習を通してどうなってほしいか)を伝えると内容の理解が早くなり、学習モチベーションもUPする効果が期待できます。コンテンツをよりよくする工夫としてイントロダクションをつくってみるのはいかがでしょうか？

イントロダクション内容例

- 研修の目的と学習目標
- コース概要
- 学習の進め方
- 学習者へのメッセージ



テスト・セルフチェックとは

テストとセルフチェックの設定には、それぞれ特長があります。
学習目的や用途に合わせてご活用ください。



テスト

理解度をテストの結果から測ります。レッスンで学習した内容から、重要なポイントについて出題すると◎
合格基準や、出題形式を設定することでさらに効果をUP！



セルフチェック

理解度を自己評価で測ります。
アンケートやチェックリストとしても活用できます。

▼ テスト・セルフチェック早見表

	択一	選択	記述	正誤	解答必須/ 任意設定
テスト	○	○	×	○	○
セルフチェック	○	○	○	○	○

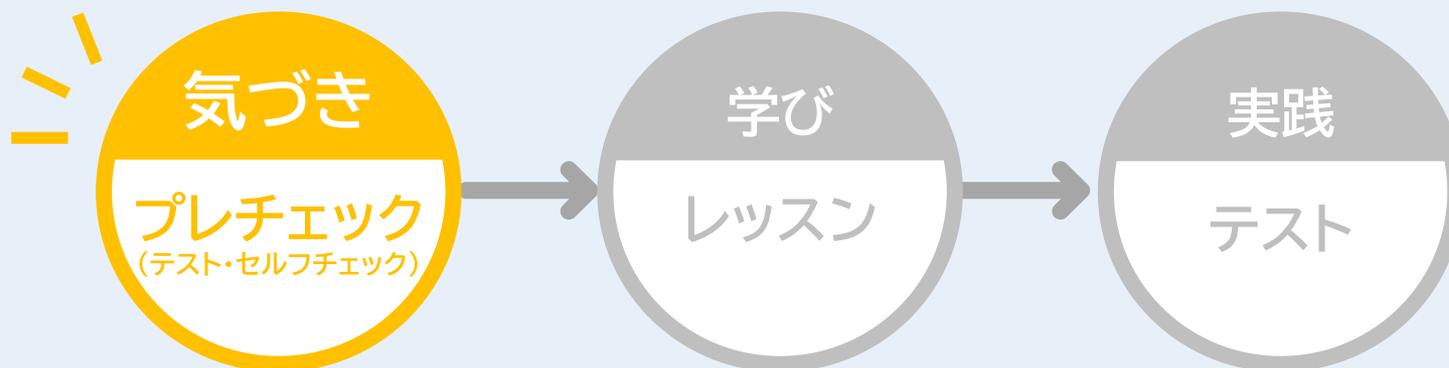
プラス
α

気づき→学び→実践の流れを作しましょう！

学習の前に、プレチェック(テスト・セルフチェックで作成)を設けることで、学習者が気づきを得る研修の流れにするのも効果的です。
何を学ぶ必要があるかを明確にし、学びを能動的にする効果があります。

プレチェック内容例

- 学習前に自身の理解度を確認
- 日常的に実践できているかをふりかえる
- 職場全体の、実践度合い・知識度合いを客観的にチェック



NEW



テストの設定をプラスして、研修の効果を高めましょう！

テストオプションとして新たに、

- ①出題形式(設問一覧順、シャッフル、ランダム抽出)
- ②合格基準(なし、あり)
- ③解答可能回数(制限あり、制限なし)

が設定可能になりました。研修の目的に応じたテストを作成し、効果を高めましょう。



出題形式

作成した問題について順序を変えて出題したり、何問か抽出して出題したり出題形式を変更できます。



合格基準

合格基準をパーセンテージで設定できます。

※テストの合格をもって修了とする場合は、合格基準ありのテストの後に、セルフチェックを設ける必要があります。



解答可能回数

テストの解答可能回数の制限の有無を設定することができます。

NEW



動画をしっかり見てもらいましょう！

学習要素として新たに「動画」が追加され、動画の視聴必須設定ができるようになりました。学習者の確実な動画視聴を担保したい場合にご活用ください。それに伴い、視聴履歴を記録できるようになりました。



進捗率

視聴完了するごとに進捗率が進みます。成績画面内に表示されます。



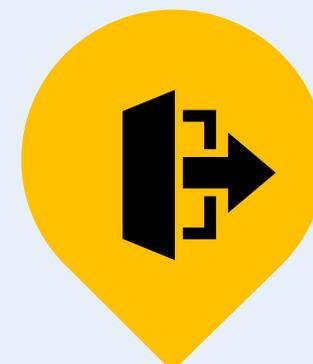
視聴履歴

いつ視聴完了したかを記録し、学習成績画面内に表示されます。



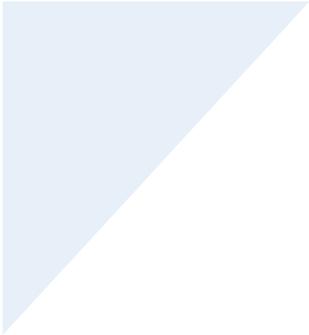
視聴必須設定

動画の視聴を必須とすることで、動画の視聴完了を修了要件にできます。



中断

初回視聴時は途中で中断することが可能です。再開すると、中断した時間から再生できます。

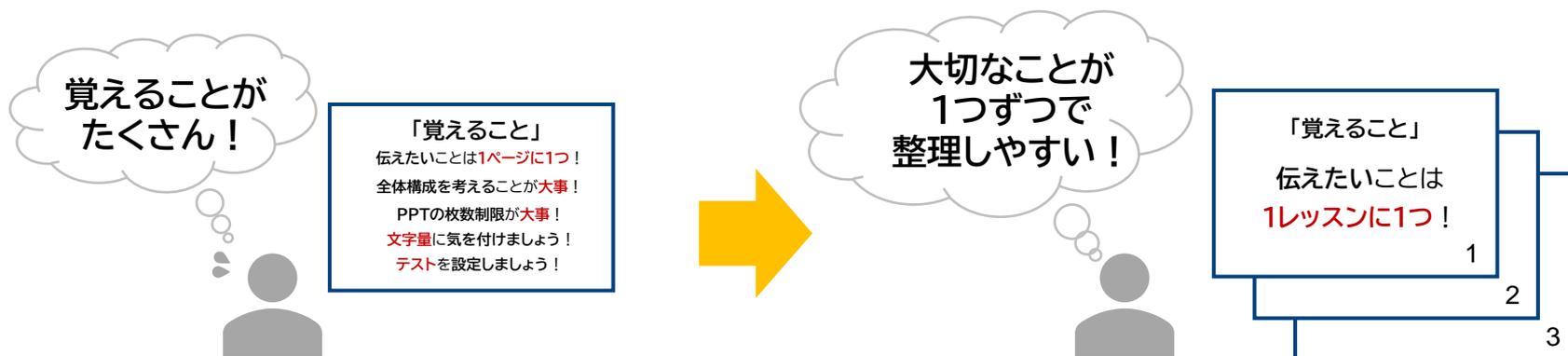


02.

具体的な作成のポイント 



 **Point** 理解させたいことは "1 レッスンに1つ" にしましょう！

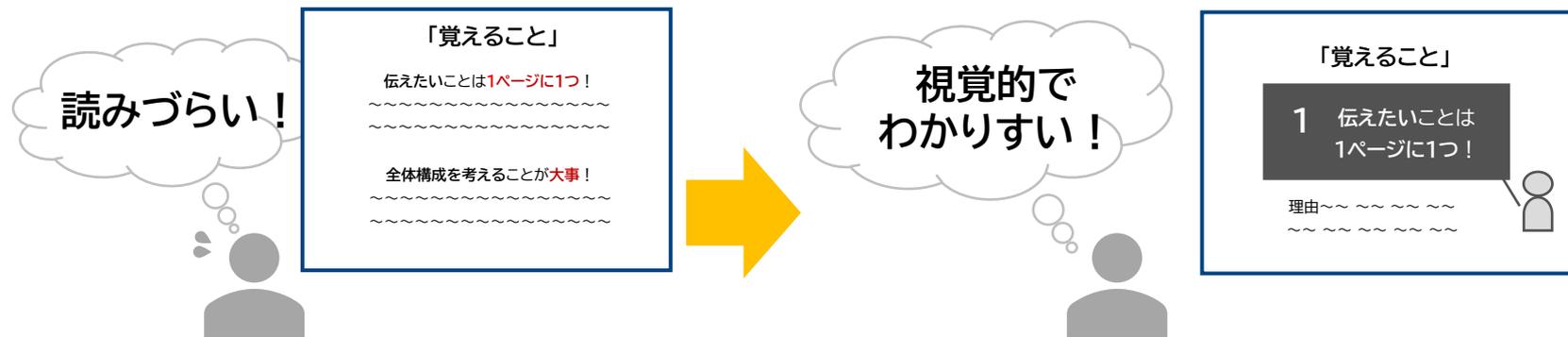


伝えたい、学ばせたいことを1レッスンに複数書かずに、複数レッスンに分けて記載しましょう。

1枚のレッスンの中に情報がたくさんあると、伝えたい内容の定着率が低下します。伝えたいことを整理して、原稿を作成しましょう。

視覚効果を利用しましょう

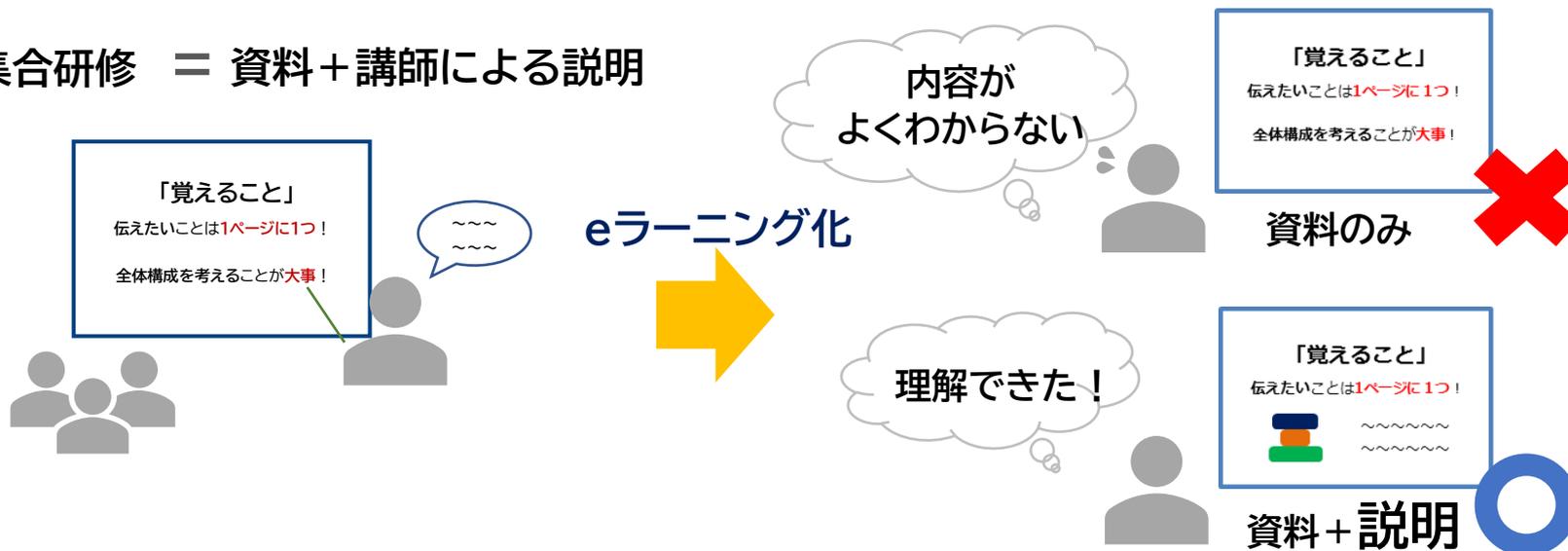
 **Point** 情報を整理して、重要な個所を強調しましょう！



平坦な文章ばかりでは、学習者がeラーニングから離脱しやすくなりがちです。そのため、文章以外にも、イラストや図、表などを入れて、情報を整理しましょう。一方で、むやみにイラスト、図、表ばかりを使用するのではなく、目的に合わせて重要な個所を強調するような見せ方をしましょう。

💡 Point 研修資料をeラーニング用につくりかえましょう！

集合研修 = 資料+講師による説明



集合研修は資料と講師の説明の組み合わせで、学習者が理解できるようになっています。そのため、eラーニングを作る際には資料のなかに講師の説明の要素を加えて、つくりかえる必要があります。

作成後はコンテンツだけで内容が理解できるか、ひとつお確認してみましょう。

テンプレートを活用しましょう

Point 研修内容にあったテンプレートを活用しましょう！



コース作成が初めての方でもかんたんにコース作成ができるように、テンプレートを4つ用意しております。

- 社内通知などの情報共有
- 昇格試験
- 新入社員研修
- 社内必須研修

タイトル	学習要素
本コースについて	レッスン
企業紹介動画	レッスン
会社概要	レッスン
企業理念	レッスン
事業概要	レッスン

研修テーマにあった目次があらかじめ設定されています。

記載例や作成ポイントも記載されているので、必要箇所のみ変更すればOK！
レッスンのみならず、テストやセルフチェックなどの学習要素の記載例もあります。

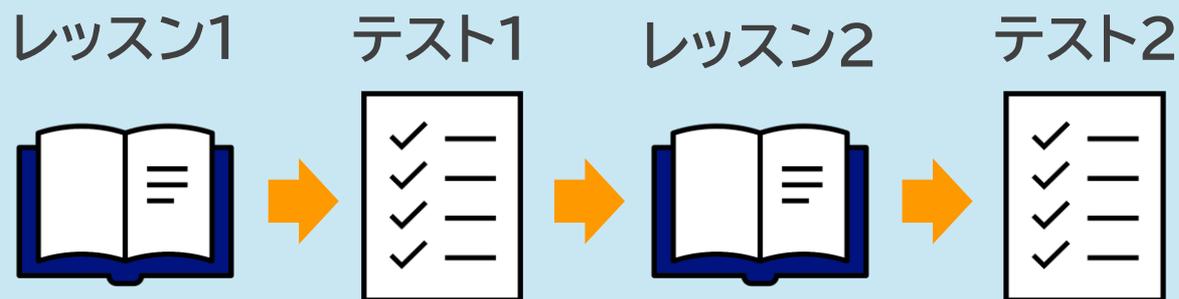
💡 **Point** テスト効果で学習効果を高めましょう！

テスト効果: 読む・聞く・書くよりも、思い出す(テストする)ほうが学習効果が高い。

このような構成よりも…

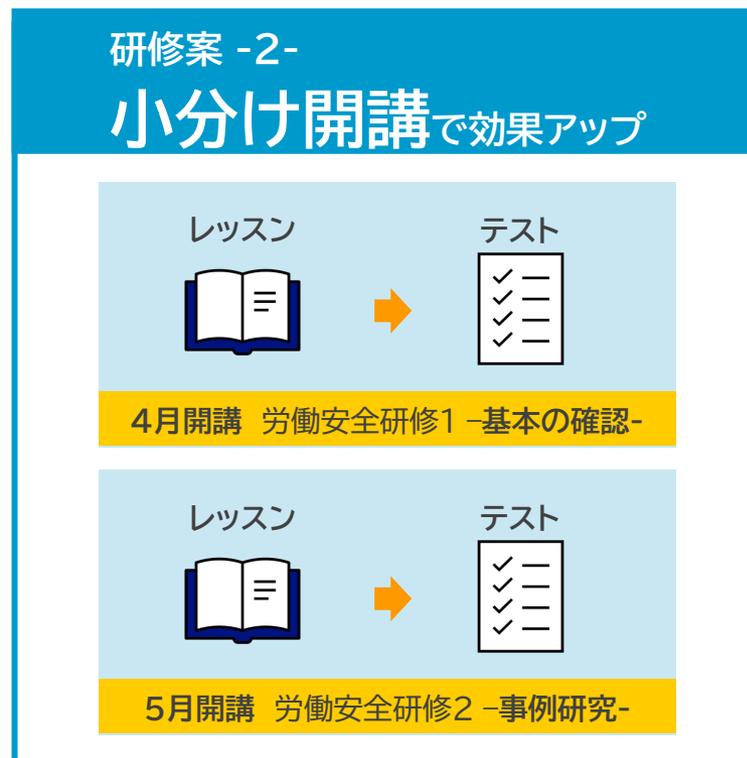
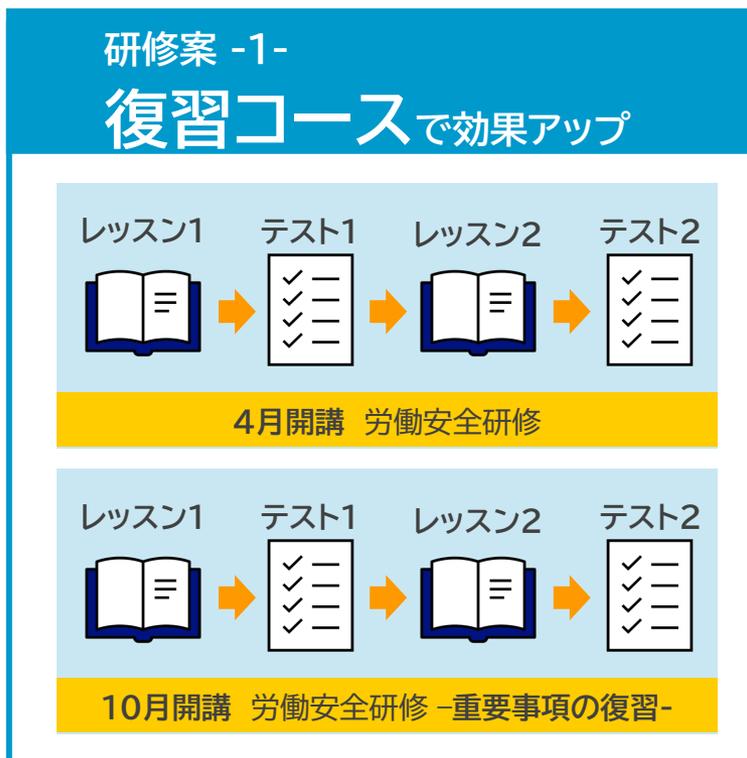


🌟 **学習効果UP** 🌟



 **Point** 分散学習で学習効果を高めましょう！

分散学習：一度記憶した情報を忘れかけてきたタイミングで復習する方と学習効果が高い。



テストオプションを設定しましょう

 **Point** テストの出題方法を設定しましょう！

▼ 設問を3問作った場合・・・

設問一覧順

設問一覧順で出題

Q1	A~~~~
Q2	B~~~~
Q3	C~~~~

共通のテストで
学習者の理解度を
正確に把握可能！

シャッフル

順番が入れ替わって出題

Q1	B~~~~
Q2	C~~~~
Q3	A~~~~

毎回出題順が
入れ替わることで
定着度UP！

ランダム抽出

指定した数だけ抽出して出題

例) 抽出される設問数 : 2
作成済み設問数 : 3

Q1	C~~~~
Q2	B~~~~

試験の傾向対策に
活用可能！

出題形式を設定することでより定着を図ることができます。
目的に合わせて出題方法を設定し、研修の効果を高めましょう。

テストオプションを設定しましょう

💡 Point 合格基準と解答可能回数を設定しましょう！

研修内容に合わせて、合格基準と解答可能回数を設定することができます。

合格基準なし

解答可能回数: ●回

正答率に関わらず、
設定された回数分
解答することができます。

研修時間の差が
小さく管理が
しやすい！

最大999回まで
設定できます。

解答可能回数:制限なし

何度でも受験でき、
ドリルのような
繰り返し学習が可能です。
シャッフルやランダム抽出との
組み合わせも◎

試験対策等の
反復学習に
効果的！

合格基準あり

解答可能回数: ●回

合格するか
設定された回数分
解答すると
次に進むことができます。

合格基準ありの場合は、
正答率(パーセンテージ)
で設定します。

内容を理解した
学習者は次に進めて
効率的！

解答可能回数:制限なし

合格するまで
何度でも解答ができ、
合格基準に達するまで
次に進むことができません。

学習者全員の
着実な理解が
期待できる！

視聴必須の動画ページを作しましょう

 **Point** 学習要素として動画を設定しましょう！

▼学習要素を「動画」で設定した場合…



すべての動画を視聴しなければ学習が修了しない設定が可能。
動画を確実に視聴させたい場合は、学習要素の「動画」に設定しましょう。

03.

【参考】 学習コンテンツツイメージ 

作成イメージ 目次

	タイトル	学習要素
学習の目的や コースの説明	イントロダクション	レッスン
学習前に学習者の 習熟度をチェック	プレチェック	セルフチェック
様々なコンテンツで 効果的に学習	Lesson1 基本ツールを使ってみる	レッスン
	Lesson2 画像の使い方を工夫する	レッスン
	Lesson3 動画ページをつくってみる	レッスン
学習到達度 をチェック	Lesson4 ツールの応用的な使い方	レッスン
学習後のアンケート	テスト	テスト
	アンケート	セルフチェック

シンプルにレッスンだけのコンテンツももちろん◎

これから学ぶ内容をわかりやすく

- ✓ 学習目的を明示する
- ✓ コース概要を案内する
- ✓ 学習方法、手順を説明する

ContentsPRO_コンテンツ作成サンプルコース

本コースについて

本コースではContentsPROでコースを作成するにあたって活用できるポイントを学習していきます。学習内容の構成やコンテンツの見せ方など、コース制作を具体的にイメージしながら制作していきましょう。

学習の目的

- ContentsPROでコースを作成するイメージができる
- コース制作が簡単にできる

学習のすすめ方

本コースはセルフチェック→レッスン→テストの順に学習をします。最後にアンケートに回答していただき修了となります。

◆プレチェック

学習の前に自身の理解度を確認します。正否を問うものではありませんので正直にご回答ください。

◆レッスン

各レッスンでは、ContentsPROでできることを学んでいきます。コースを作成するにあたって活用できる知識を習得しましょう。動画で受講するレッスンもあるため、必要であればイヤホンなどご準備ください。

学習前に、気づきを得る問いかけ

- ✓ 何を学ぶ必要があるかを明確にする
- ✓ 後に続く学びを能動的にする

回答お疲れさまでした。
解説は設問右の  よりご確認ください。
確認後、  からレッスンへ進んで学習を始めましょう。

Q1. 「」の使い方を知っていますか？ 

Q2. 学習内容が文字ばかりで見づらくなってしまふ。 

A. そう思う (悩んでいる)

B. そう思わない (とくに悩んでいない)

Lesson 1 と Lesson 2 で学習ページ(レッスン)の作成について紹介しています。
参考にご活用ください。

Q3. 受講者が動画の操作に迷わないか不安。 

A. そう思う (不安)

B. そう思わない (とくに不安ではない)

Lesson 3 で動画ページの作り方をご紹介しています。
動画プレーヤーや引用するコンテンツの操作案内については記載があると親切です。

 前ページ   次ページ

ツールを活用する

- ✓ 文字装飾・画像挿入で見やすく
- ✓ 動画コンテンツも効果的◎
- ✓ 補足事項はリンクやダウンロード資料を活用

◆効果的な学習のために

- ・ データや要点を整理するために表を活用しましょう
- ・ イラストやアイコン等を入れて文字ばかりにならないようにしましょう
- ・ 音声や動画を入れて聴覚・視覚的に学習できるコンテンツも有効的です
- ・ ダウンロード資料や参考文献のURLも設置して学習を深める工夫があるとよいでしょう

<使用例>

① 画像の挿入



Lesson 3 動画レッスンページの作り方

本Lessonでは、動画学習におけるページ作成について学習します。
以下は動画ページ作成における見本です。

再生ボタン をおして視聴を開始してください。
動画視聴後は、画面右上下の をクリックし、次のLessonに進んでください。

ファイアウォールのアドレス変換機能 (NAT)

第4章 不正アクセスとその防止

01:51 / 03:55

作成イメージ テスト

解答に迷わない工夫をする

- ✓ 択一か複数選択かわかりやすく
- ✓ “誤り”を選ぶ場合は強調を
- ✓ 解説に補足説明や根拠があると◎

解答お疲れさまでした。
とくに誤ってしまった問題については、解説をよく読んで理解しましょう。
解説は設問右の ▾ よりご確認ください。
内容がしっかりできたら次のページでアンケートのご協力をお願いいたします。

正解率 50%(2/4)

Q1. 設問文設問文設問文設問文・・・。
以下の選択肢より当てはまるものを1つ選びなさい。

Q2. 設問文設問文設問文設問文・・・。
以下の選択肢より誤っているものを1つ選びなさい。

Q3. 設問文設問文設問文()設問文・・・。
以下の選択肢より()にあてはまるものを1つ選びなさい。

Q4. 設問文設問文設問文設問文・・・。
以下の選択肢より当てはまるものをすべて選びなさい。

← 前ページ ↑

作成途中でも



ボタンで、コースイメージの確認が可能です。

作成イメージ 動画

動画を確実に視聴させる

- ✓ 動画の上に表示されるメッセージに動画の概要説明や、視聴必須である旨などの説明すると◎



動画ごとに視聴履歴を確認できる

- ✓ 動画の視聴履歴は、「テスト 個人別 解答一覧」より視聴完了履歴を確認

ページタイトル	設問番号	解答内容	解答日時
テスト	1	A	2024/1/12 15:59
動画1	1	completed	2024/1/12 15:59
動画2	1	completed	2024/1/12 16:02

作成イメージ

プラス
α

コピー機能で効率的に作成しましょう！

コンテンツ基本情報画面にて、学習要素のコピーが可能です。
学習要素単位で、内容および設定をコピーすることで、
短い時間でコースの作成が可能です。

学習要素	編集	コピー	設定	削除
レッスン				
セルフチェック				
テスト				

コピーを作成

それぞれの学習要素の

- ✓ 内容
- ✓ 設定

をそのままコピーできます。
「同じ設定のテストを
各章ごとに作成したい」
といった場合に活用できます。

コンテンツ作成における詳細は、
作成画面の「**?**ヘルプとサポート」をご覧ください。

～作成画面の「**?**ヘルプとサポート」へのアクセス方法～

- ① 作成画面にログイン
- ② TOPの「**?**ヘルプとサポート」をクリック



[ヘルプ&サポート \(netlearning.co.jp\)](https://netlearning.co.jp)